

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年9月14日
第28号



※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



教科担任制について「アンケート」をしました。(5,6年生)

本校では、今年度、5, 6年生において、「担任による交換授業」あるいは、専科教員による「一部教科担任制」を実施しています。現在、子どもたちがどんなことを感じているのか、5, 6年生に一度アンケートをとってみました。子どもたちの素直な意見が書かれていましたので、その中から一部紹介させていただきます。

① 教科担任制（専科教員による授業、高学年担任による交換授業）のいいところはありますか？

ある→ 68名 ない→ 20名 肯定回答 77%

② その理由を教えてください。[ある]

- その教科に詳しい先生（得意な先生）に教えてもらえるので、わかりやすいし、学びも深められる。
- いろいろな先生と会うことができ、コミュニケーションが取れ、授業を受けて考えたり、話したりできる。
- 中学校のやり方に慣れておく必要があるから。 ○教え方が少しずつ違うのがいい。
- 担任の先生があまり疲れず、楽になり、大変にならないと思う。
- 厳しい先生や優しい先生、タイプの違う先生に授業をしてもらおうとやる気が出る。
- 担任の先生が苦手な教科だったら、授業が進まないと思う。

[ない]

- 提出物出すときや質問をしたいときにその教科の先生の所へ自分が行かないといけない。
- 授業をしてもらう内容は同じだし、担任の先生の方が、自分と人間関係ができていて慣れている。
- 担任の先生が授業を多く持った方が、私たちの移動時間が短縮される。
- 先生によってやり方やスピードが変わってしまい、とまどってしまう。

肯定回答がもう少し高いのかと思っていましたが、ちょっと意外でした。多くの人との『出会い、ふれあい、語り合い』が大切なことを、子どもたち個々が実感できるように、今後も学校運営を進めていきます。

妊婦体験をしました。(5年生)

9月6日(火)に、5年生は保健の授業で『妊婦体験』をしました。「生まれた時の体の重さや生まれる前までいた母体の重さを体験し、日々の苦勞を感じることで命の重みを感じる」ことが目標でした。リュックサックに水が入った2リットルのペットボトルを入れ、胸を大判のスクarfで巻き、その上からエプロンをつけて妊婦になっていました。「落ちている本や鉛筆を拾う」「靴下を脱いだりはいたりする」「階段を上ったり下りたりする」など、さまざまな体験をしました。子どもたちからは、「寝返りがしにくかった」「重かった」「足元が見られないから階段が怖い」といった感想がありました。体験を通して、自分が大切にされて生まれてきたことを深く理解できたことと思います。



タブレットケースを購入しました。

7月11日(月)より、児童用タブレットの持ち帰りについて、低学年(1~3年)は毎週末に持ち帰り、高学年(4~6年)は毎日持ち帰ることが基本となっています。今後、子どもたちが日常的にタブレット端末を持ち帰るにあたり、荷物が多くなってしまうことを考慮して、写真のようなランドセルに入れることのできる大きさのタブレットケースを学年費で購入しました。なお、高学年(4~6年)は、現在アダプターを家庭保管とし、タブレット端末は充電して学校に持ってくるようになっています。また、家庭学習においては、ミライシードで宿題として配付されたものや「こにゅうどうくん学びの部屋」を利用して学習を進めることになっています。お知りおきください。 (文責 北住 昌文)

